

令和6年度第3回尾張旭市障害者地域自立支援連携会議（運営会議）会議録

- 1 開催日時
令和6年12月17日（火）
開会 午前10時00分
閉会 午前11時45分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 201会議室
- 3 出席した構成員
相談支援部会長 樋口 美紀、こども部会長 谷口 亜弥、精神障がい者支援部会長 村田 健郎（事務局兼務）、尾張東部圏域地域アドバイザー 竹田 晴幸
- 4 欠席した構成員
医療的ケア児等支援部会長 榎本 博文
- 5 出席した事務局職員
福祉課障がい福祉係長 鎌倉 大明、障がい福祉係副主幹 長江 奈緒子、障がい者基幹相談支援センター 川上 雅也、村田 健郎、水野 旭、山田 涼子、鈴木 真紀子
- 6 議題
 - (1) 日中支援型グループホームに係る評価について
 - (2) 地域生活支援拠点に係る評価について
 - (3) 専門部会の活動報告について
 - (4) その他

7 会議の要旨

障がい福祉係長	只今より、第3回運営会議を開催します。 本日は、医療的ケア児等支援部会長の榎本博文様が欠席しております。 はじめに、議題(1)日中支援型グループホームに係る評価について協議します。本日は、ソーシャルインクルーホーム尾張旭狩宿町の評価を行います。何か質問等がありますか。
	(質疑応答)
障がい福祉係長	以上で、質疑応答を終了します。 次に、議題(2)地域生活支援拠点に係る評価について協議します。何か質問等がありますか。
基幹相談支援センター 川上	地域生活支援拠点コーディネーターについてですが、配置することで加算が取れるようになりました。 尾張旭市は、いつ頃コーディネーターを配置する予定ですか。
障がい福祉係長	障がい者計画にも記載がありますが、令和8年度配置予定です。

基幹相談支援センター 山田	コーディネーターは、どこに配置する予定ですか。また、外部委託にするなど詳細は決まっていますか。
障がい福祉係長	詳細については、まだ決まっておりません。
村田委員	令和6年度の法改正で、基幹相談支援センターの役割について、相談支援の人材育成・質の向上、地域づくり等が示されました。 一方で、地域移行・地域定着は地域生活支援拠点で行うこととされたため、基幹相談支援センターとコーディネーターは分けて考えるべきだと思います。また、コーディネーターは専従専属であるため、基幹相談支援センターで担うとすれば、人員や兼任の方法を協議する必要があります。 なお、地域生活支援拠点はサービス提供がメインとなるため、コーディネーターを複数とし、役割分担するのも一つの方法だと思います。
基幹相談支援センター 川上	統括コーディネーターを中心に、役割分担したコーディネーターや協議会と連携して実施するのが良いのか、専門部会でも意識して活動していただけると良いと思います。
障がい福祉係長	現在、コーディネーターの配置はありませんが、緊急時対応等は基幹相談支援センターと協力して対応しています。 今回のように地域生活支援拠点の評価をすることで、見えてくる課題もあると思います。今後、どこがどのような役割を担っていくか、協議していきたいと思います。
竹田委員	緊急時の対応について、日中支援型グループホームの短期入所利用も考えていくと良いと思います。 また、障害者のみでなく、障害児も含めた地域生活支援拠点について協議ができるとより良いと思います。
障がい福祉係長	他に御意見はありませんか。
	(なし)
障がい福祉係長	以上で、議題(2)を終了します。 次に、議題(3)専門部会の活動報告について、各専門部会より報告をお願いします。
樋口委員	相談支援部会では、9月20日にケアマネジャーとの交流会を実施し、65歳以上のかたの就労継続支援B型利用について、グループワーク等を行いました。 交流会終了後、市内のインフォーマルな社会資源や、市内福祉事業所の取り組みについて学びたいという意見が出ました。
竹田委員	高齢で就労継続支援B型利用の新規申請が増えていますが、その

	一方で、特別支援学校卒業後に就労継続支援B型を希望するかが、利用を断られるケースがあると聞いています。 65歳以上の方の利用申請を拒むことはできませんが、このような現状があることを、申請者やケアマネジャーに伝える必要はあると思います。 また、ケアマネジャーとの交流会を行っている市町は圏域でもまだ少ないのが現状です。尾張旭市は先進的に行っているため、今後でも継続していただきたいと思います。
谷口委員	こども部会では、12月13日に「軽度・グレーゾーン児童の支援について」講演会を開催しました。また、来年度もあさひシルミルフェアを開催し、再来年度からは担当者を輪番制で行っていく予定です。 なお、事務局については、福祉課とこどもの発達センターで担うことになりました。
障がい福祉係副主幹	医療的ケア児等支援部会では、医療的ケア児と家族のためのガイドブックを作成しています。 11月までに3回の作業部会を終え、現在ガイドブック案を作成しています。1月に委員の皆様にご意見をいただき、2月頃実施する部会で承認を得て、4月にガイドブックを配布する予定です。
村田委員	精神障がい者支援部会では、精神障がいのかたの雇用促進に向けた企業向け啓発事業として、企業訪問を行い、雇用に対する不安や困りごとについて聞き取りを行っています。 12月10日にハローワーク瀬戸の成田氏とともに、市内企業を訪問し、精神障がい者の雇用のしづらさについて聞き取りを行い、情報共有しました。 また、今年度も医療機関との勉強会を実施しますので、是非参加をお願いします。
基幹相談支援センター 川上	障害者の法定雇用率が年々上がっている状況で、今後生活介護や就労継続支援B型からのマッチングが重要になってきます。 尾張旭市役所は、障害者雇用率は達成していますか。
障がい福祉係長	達成しています。
基幹相談支援センター 山田	日中活動・就労ネットワーク連絡会では、10月22日に会議を行い、福祉フェスの振り返りと来年度開催について協議しました。 また、来年度から専門部会としての活動を希望しているため、次回運営会議で連絡会長が出席し、活動内容の報告や地域課題等を含めた報告をする予定です。
障がい福祉係長	専門部会の活動について、他に何か質問等ありませんか。

	(なし)
障がい福祉係長	次に、地域アドバイザー竹田様より、情報提供をお願いします。
竹田委員	株式会社恵のグループホームが、神戸市の事業所に一括譲渡される件について、利用者や職員はそのまま残りますが、運営や質の面については、引き続き注視していく必要がありますので、御承知おきください。
障がい福祉係長	最後に、次回運営会議の日程ですが、令和7年3月4日（火）、5日（水）、19日（水）午前のいずれかで調整していきたいと思います。日時が決まり次第、構成員の皆様に連絡しますのでよろしくお願いいたします。 その他、全体を通して質問や連絡事項等はありませんか。
	(なし)
障がい福祉係長	以上で第3回運営会議を終了します。ありがとうございました。